

当初・変更

工事執行機関 企画調整部エネルギー課

入札（見積）執行調書
 入札（契約）結果書

年災		事項		契約	令和元年8月30日
工事番号	19-11025-0001	工事名	J ヴィレッジ全天候型練習場多目的化改修工事	着工	令和元年8月30日
入札執行年月日	令和元年8月26日	発注種別	建築工事	完成	令和2年3月20日
審議番号	公所	本庁			
路線・河川名	該当なし			予定価格	
工事箇所 自	双葉郡檜葉町大字山田岡字美シ森地内			135,300,000	
至					
工事概要	Jヴィレッジ全天候型練習場多目的化改修工事に係る設計・施工・工事監理 一式				

業者コード 業者名	落札者の住所		
	入札額及び再入札額		落札額（契約額）
100000290 前田建設工業株式会社東北支店	宮城県仙台市青葉区二日町4番11号		
	(1) 123,000,000	(2)	135,300,000
	(3)	(4)	
	(1)	(2)	
	(3)	(4)	
	(1)	(2)	
	(3)	(4)	
	(1)	(2)	
	(3)	(4)	
	(1)	(2)	
	(3)	(4)	
	(1)	(2)	
	(3)	(4)	

※ 上記入札額に、消費税額を加算した額が地方自治法上の申込みに係る価格である。

※ 測量等の場合、「工事名」とあるのは「業務名」と、「工事箇所」とあるのは「業務箇所」と読み替えるものとする。

随意契約とする理由及び見積りの相手方を選定した理由

Jヴィレッジ全天候型練習場は、トップアスリート向けの施設としての機能を維持しつつ、デザイン面での特殊性を有するため、既存施設との調和に配慮するとともに、本県復興のシンボルとしてふさわしい設計が求められる。

また、3月26日の聖火リレーを控え、3月上旬までの完了という厳しい時間的制約の中、スポーツ合宿等の用に供しながら施工することとなる。このため、利用者の安全確保、既存施設等の機能維持に加えて、同時期に行われる水素利用設備設置工事との調整等の工程管理も求められ、建築工事業者の施工技術や施工管理等のノウハウと建築設計業者の意匠を設計に反映させる必要があることから、設計と施工を切り離すことはできない。

このため、「福島県測量等委託業務公募型プロポーザル方式試行要領」に準拠する公募型技術提案方式により、本業務に最も適した技術提案書の特定を行った。

その結果、下記の者が提出した技術提案書が、Jヴィレッジ全天候型練習場多目的化改修工事公募型プロポーザル審査委員会において、本業務に最も適した技術提案書と特定され、令和元年8月19日に開催された本庁特例入札参加条件等審査委員会において、随意契約の相手方とすることについて了承された。

以上より、地方自治法施行令第167条の2第1項第2号「その性質又は目的が競争入札に適さないとき」に該当するため、下記の者と随意契約とすることとした。

記

契約の相手方 名 称 前田建設工業株式会社東北支店
 住 所 宮城県仙台市青葉区二日町4番11号
 代 表 者 名 前田建設工業株式会社東北支店
 常務執行役員支店長 東海林 茂美

変更契約の内容

変更契約年月日	年	月	日
変更後の完成年月日	年	月	日
変更後の契約金額			
変更契約をする理由			
<input type="checkbox"/> 1 現場精査による数量増（減） <input type="checkbox"/> 2 （ ） 工事追加による増額 <input type="checkbox"/> 3 その他（ ）			